



会長 菅原 慶一
幹事 小野寺 伸浩
会報 高田 次雄 村上 武彦
 森田 峯男
例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2683回例会 2019. 2. 28 No.32

本日の出席率

・本日の出席率 100%

ニコニコボックス

- ・菅原慶一会長 「わっか」様、ようこそいらっしゃいました。歓迎いたします。及川長五郎会員スピーチ頑張ってください。期待していますヨ。
- ・及川長五郎会員 初めてのスピーチです。よろしくお祈りします。
- ・布施孝之会員 及川長五郎会員の初スピーチを楽しみに。
- ・佐藤幸一会員 及川長五郎会員初のスピーチ大にご期待いたします。七十七銀行のマーチャン大会で遠藤光則会員優勝、おめでとうございます。
- ・江川元徳会員 今日、2月28日は台湾にとって特別な日です。四つのテスト、公平、公平。
- ・八谷郁夫会員 及川長五郎会員のスピーチ、楽しみです。
- ・菅野幸一郎会員 本日は、河北新報社登米支局の小島記者には、お忙しいところ取材にお出でいただき有難うございました。及川長五郎会員の初スピーチに期待します。
- ・菅原文之会員 及川長五郎会員の初スピーチを歓迎します。
- ・佐藤静市会員 及川長五郎会員の初スピーチを歓迎します。
- ・猪股育夫会員 及川長五郎会員の初スピーチ、格調高いお話でしょうか。ご期待申し上げます。
- ・小野寺伸浩幹事以下 本日のスピーチに期待して。
 村上武彦会員 佐々木崇会員 佐藤敬喜会員
 氏家良典会員 山田直志会員 遠藤光則会員
 佐々木源悦会員 熊谷敏明会員 高橋利光会員
 布施孝尚会員 山田正会員 武川毅会員
 及川昭宏会員 太田陽平会員 岩渕栄市会員

杉田広仁会員 佐藤早智子会員 及川富男会員
 大畑好司会員 後藤和人会員
 以上、ありがとうございました。

会長要件 菅原慶一会長

本日、お越しいただきましたほっとスペース「わっか」様、河北新報社の小島様、お忙しいところお出でいただき誠にありがとうございます。「わっか」様にはささやかではありますが、佐沼ロータリークラブからの支援金をお受け取りいただき、活動に活用していただければと思います。

先週は、8名の方を対象にした社会奉仕委員会、職業奉仕委員会、青少年奉仕委員会の3委員会表彰がありました。各委員会の皆様にはご苦勞様でした。永い歴史のあるこういった表彰活動について、以前、猪股育夫会員が会長をされていた時に、いい言葉を話しておられます。「きれいな花は山に咲く」本当に良いものや価値あるものは人の気付かないところにあるものだという意味だそうで、そこに気付いてあげられる本活動の重要性をなるほどと教えられました。

先々週には、ロータリーについての勉強会を、八谷郁夫バスターガバナーの講師で開催しております。参加者18名、世界的な規模の組織とその歴史、ロータリーが何を求めているかなど基本的なことや、独特の用語、クラブ例会の意義、財団の活動など出席した会員は約1時間熱心に耳を傾けておりました。終わりましたからの意見、質問交換会など有意義な時間が持てたと考えております。

講師を務めていただきました八谷郁夫会員、企画していただきました小野寺伸浩幹事、そして出席された会員の皆様に感謝いたします。

幹事報告 小野寺伸浩幹事

- ・川崎大師RCより、会報が届く
- ・「ザ・ロータリアン」誌が届く

- ・佐沼ライオンズクラブより
 50周年記念式典並びに祝賀会の案内が届く
 日時 4月28日(日) 14:00~
 会場 ホテルサンシャイン佐沼

各委員会報告

- ・交換留学生特別委員会 (高橋利光委員長)
 交換留学生テイラーの近況について
 1. 2/20(水) 佐沼警察署にて、アメリカの警察制度について講演をした
 2. 2/23(土) 地区のオリエンテーションに出席
 3. 3月 韓国旅行(ホストファミリー佐々木さんのお孫さんが卒業旅行で韓国に行くので、佐々木さんの好意で一緒に行くことに。)
 4. 白馬スキー場での合宿に参加(全国留学生対象)

◎贈呈式(社会奉仕委員会)

「わっか」様に支援金を贈呈
 今年のクリスマスオークションで皆様にご協力いただきました売上金135,000円を、ほっとスペース「わっか」様に贈呈することとなりました。



「わっか」様に支援金贈呈

・佐藤和枝様のあいさつ(「わっか」代表)

ほっとスペース「わっか」の代表の佐藤和枝です。

この度は、「わっか」に心あたたまご寄付をいただき誠にありがとうございます。私たちの活動にご理解いただきこの様なご厚意に会員一同深く感謝しております。佐沼ロータリークラブ様よりお寄せいただいた厚意は私たちの活動に発展させるよう活用して参りたいと思っております。ほんとうにありがとうございました。

私たち、ほっとスペース「わっか」は不登校の子供たちや家族が安心して暮らせる地域社会を作ることを目的として活動しております。その活動内容は情報交換や学習会、定例会等です。当事者同士が悩みを分かち合う親の会、そして子供の居場所です。子供たちが居場所に足を運んで来るうちに少しずつ笑顔や仲間との係わりが増えていることを、私たちは大変うれしく思っております。私たちは更にしっかり活動して行きたいと思っております。今後共々永いお力添えをいただきますようお願い申し上げます。



「わっか」の活動内容を紹介する佐藤様

今週のスピーチ

「NHK連続テレビ小説(朝ドラ)について」
 及川長五郎会員

入会して初めてのスピーチで緊張しております。昨年の3月義務教育の学校を退職しましてから、生活のスタイルが変わり、朝のあいた時間にNHKの朝ドラを見るようになりました。素朴な疑問を解決するために調べまわってみましたので、その辺をお話したいと思います。資料を配布しましたのでご参照下さい。



初スピーチをする及川長五郎会員

1. 朝ドラがつくられた経緯と背景
 (1)どのようにして連続テレビ小説ができあがったか
 新聞に連続小説が掲載されていたが、戦後、毎朝、ラジオ小説が朗読されるようになった。(連続ラジオ小説)。単に小説の朗読から、情景描写の「語り」やセリフによるラジオドラマとなり、1953年にテレビ放送が開始された。(NHK、日本テレビ)1958年から1963年の夜の帯ドラマ「バス通り裏」を雛形とした。放送開始は1961年(昭和36年)、朝に「連続テレビ小説」として放送、これが第1作目で2019年で58年目を迎える。
 第1作目は「娘と私」で主演は北沢彪でした。雑誌「主婦の友」に連載された小説をドラマ化したもので、原作は獅子文六の自伝的私小説です。連続テレビ小説シリーズ史上、主人公が特定の氏名を持たない唯一の作品です。
 (2)当時の世の中の状況
 1953年~1959年にかけて、昭和の市町村大合併が行われました。「もはや戦後ではない」と言われるようになる。朝鮮特需から高度経済成長時代へと入っていき、第二次世界大戦終戦直後の復興から続く一連の経済成長は「東洋の奇跡」と言われた。
 白黒テレビが30年代において急速に家庭に普及し、1963年頃には世帯普及率は90%に達した。
2. 朝ドラ全体を通して特徴的なこと、わかったこと
 初めの頃は(第1作~第5作)文芸路線であったが、第6作「おはなはん」で初めて女性一代記路線が登場した。
 NHK放送センター(東京)とNHK大阪放送で制作されており、第1作(1961)から第14作(1974)まで14年間は東京制作、第3作は除く(大阪)。そして、第15作「水色の時」(1975)から、前期、後期と1年間に2作を制作。
 主演俳優、ヒロイン像、時代設定、舞台設定、視聴者層、放送日時の変遷等は資料をご覧ください。
3. 朝ドラの役割についての私見
 ・記憶に留めておくべきことを後世に残す
 ・ある時代の間接体験で風化を防ぐ
 ・日本(人)の心の伝承
 ・新たな時代を切り拓く時の根拠、正しい判断
 — 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。